

抗議 声 明

昨9月25日、多くの市民の反対の声の中、米海軍原子力空母ジョージ・ワシントンが、横須賀に強行入港した。

もとより私たちはいかなる米空母の配備にも反対である。しかし、原子力空母は海に浮かぶ原子力発電所そのものであり、万一原子炉が崩壊すれば、3000万人もの人々が住む首都圏で、大惨事が起きることは明白だ。にもかかわらず、原子炉の構造、安全対策などは軍事機密として公開されず、日本政府が介入することも許されないブラックボックスとなっている。

同艦は、5月22日に船尾で火災が発生し、ケーブル類に延焼して12時間後にようやく鎮火するという事故を起こした。米軍は、原因を乗組員の煙草の不始末だとして、関係者を処分したと発表したが、階級も処分内容も明らかにされないなど、今後の事故防止対策を含め、詳細には不明な点も多い。

さらに、8月2日には米原子力潜水艦ヒューストンが放射能漏れを起こしていたことが明らかとなった。「原子力艦船は安全」とする米軍の表明とは逆に、1963年の原潜スレッシュャー、65年のスコープオンの沈没事故、1999年の原子力空母ジョン・C・ステニスの座礁による原子炉の緊急停止など、わかっているだけでも何度も大事故を引き起こしている。

また、ジョージ・ワシントンは、5500名以上の乗員、兵員と、85機の搭載機を抱える巨大空母であり、厚木基地周辺の騒音被害、墜落の危険性が継続・拡大する。その上、中東を始め、世界中で米軍の侵略基地の役割を担ってきており、今後も日米安保の極東条項を超えて同様の役割を担うことも明白だ。

私たちはジョージ・ワシントンの横須賀強行入港に断固抗議するとともに、今後も配備反対の闘いを、沖縄を始めとした全国の仲間と共に闘い抜くことを表明する。

ジョージ・ワシントン強行入港糾弾！

原子力空母横須賀配備反対！

ジョージ・ワシントンは今すぐ横須賀から出て行け！

日米軍事再編・基地強化反対！

厚木基地第4次爆音訴訟勝利！

辺野古、高江への新基地建設阻止！

2008年9月26日

原子力空母横須賀母港化を許すな！ 辺野古新基地建設阻止！ 緊急集会・参加者一同